

三八三柱 の英霊よ 安らかに

合同慰霊祭行わる

本年度戦没者合同慰霊祭が、自然に頭を垂れた遺族の心十一月十日中学校体育館で厳かに執行されました。

祭典は県、郡、四隣町村の代表者及び町内各種団体から多数の来賓をお迎えして午前十時から始められました。

神官の奏上する祈禱の中に



は、このかげに三八三柱の英霊の強い願いがあった賜ものです。

参列者一同、諸英霊のごめい福をお祈りするとともに、遺族の上に限りない御加護あらんことを祈念し式を終りました。

肉用牛互評会開かる

= 特別賞に上杉さん =

去る十一月七日
第一回横
芝町肉用
牛互評会
が農協旧
栗山穀粉
工場広場
で開催さ
れました。

天候にも恵まれ
広場には
朝早くか
ら大勢の
畜産家が
つめかけ
ました。

この日、出品された二十三頭はいずれも優秀に育成したもので、審査員も体尺測定、発育、飼養、管理状況などを念入りに審査、その結果、木戸台の上杉秀さんが特別賞を獲得したほか、次の方々が入賞しました。

特別賞
千葉県経済連会長賞
上杉 秀
千葉県山武支庁長賞
大木 徳榮

横芝町長賞 印東 厳

横芝町農協組合長賞 伊藤 績夫

横芝町農業共済組合長賞 佐瀬 昇一

この互評会は、昭和四十二年、前町長伊藤績夫氏の肝煎りで、六十八名の畜産家が集まって横芝町肉用牛生産組合を結成し、遠く島根、京都、宮崎地方から生後六ヶ月の黒うしを導入飼養していたところ、相当の成果が上り、明るい見通しがついたので組合員が互いにその成果を評定し合って研究を積重ね、今後の事業の発展向上に資するために行なわれたものです。

伊藤組合長は、かつて町長時代欧州の先進畜産地の状況をつぶさに視察して得た肉用牛生産に対する最新知識をもってこの事業の開発に打ちこみ、四十六年には組合飼養頭数を六〇〇頭（現在二百頭）にする計画をたてるなど、遅ましい抱負をもって業績向上に努力しておられます。



文部大臣賞に輝く

横芝小学校PTA

横芝小学校PTAが文部大臣から表彰されました。

去る八月八日全国PTA研究大会が札幌中島スポーツセンターで開催され、その席上横芝小学校PTAは、長年にわたるPTA活動が優秀であるというので受賞がきまり、大木副会長が出席して次のような表彰状を受領しました。



見事に育成した肉牛と受賞者

表彰状

千葉県山武郡横芝町立
横芝小学校PTA

貴団体は会員の熱意と協力によりすぐれたPTA活動を行ない顕著な業績をあげられましたよってこれを表彰します

昭和四十四年八月八日
文部大臣 坂田通太